

平成17年10月21日

南海電気鉄道株式会社

11月27日(日)から

泉佐野駅付近下り線高架化にあわせて

南海線のダイヤ改正を実施します

関空アクセスの増強、特急網の整備拡充、乗り換えの利便性向上を図ります

南海電鉄（社長 山中 諄）では、泉佐野駅付近下り線高架化にあわせて、平成17年11月27日（日）から南海線のダイヤを改正します。

今回のダイヤ改正では、関空アクセスを増強させるべく、空港線の運転本数を増加するとともに、関西空港～和歌山市方面のお客さまに、泉佐野において同一ホームでのスムーズ乗り換えが可能な「ホーム・ツー・ホーム乗り換えサービス」()を実施します。

また特急「ラピート」では、泉佐野 関西空港相互間で、大人100円・小児50円の新たな特急料金を設定するなど、これまで以上に関空への利用促進を図ります。

さらに、特急「サザン」の増発や空港特急「ラピート」の運用見直しを図るほか、昼間時間帯における運行パターンを変更し、乗り継ぎを改善します。

詳細は以下のとおりです。

「ホーム・ツー・ホーム乗り換えサービス」とは

泉佐野で上り線と下り線間に乗り換えホームを新設し、空港線と南海本線の列車(一部を除く)において、同一ホームで相互間乗り換えができるサービスのこと。

1. ダイヤ改正実施日

平成17年11月27日(日)

2. ダイヤ改正の主なポイント

(1) 関空アクセスの増強

空港線の運転本数の増加

泉佐野での「ホーム・ツー・ホーム乗り換えサービス」の実施

泉佐野 関西空港相互間で新たな特急料金を設定（大人100円・小児50円）

(2) 特急「サザン」の増発と空港特急「ラピート」の運用見直し

- ・ 特急「サザン」の増発と、空港特急「ラピート」の列車種別の変更を行い、「ラピート」として運用(一部を除く)。

(3) 運行パターンの変更

- ・ 昼間時間帯における輸送形態を見直し、乗り継ぎを改善します。

南海線のダイヤ改正の詳細について

【1】 関空アクセスを増強します

空港線の運転本数が増加

従来、毎時5本(ラピート2本・空港急行3本)の運転本数を、毎時6本(ラピート2本・空港急行2本・空港普通2本)とし、約10分間隔で運転します。

泉佐野での「ホーム・ツー・ホーム乗り換えサービス」の実施

空港線と南海本線の特急・急行列車等で、泉佐野での「ホーム・ツー・ホーム乗り換えサービス」を実施します。従来では関西空港～和歌山市方面へのお客さまは、泉佐野で階段を使用しての乗り換えが必要でした。しかし、泉佐野駅付近下り線高架化に伴い、上下線間に乗り換えホームを新設し、関西空港～和歌山市方面をご利用のお客さまに、同一ホームでスムーズにお乗り換えいただけます。

「泉佐野 関西空港」相互間で新たな特急料金を設定

空港特急「ラピート」に、泉佐野 関西空港相互間で、大人100円・小児50円の新たな特急料金を設定し、これまで以上に関空への利用促進を図ります。

レギュラーシートのご利用に限定します

【2】 特急「サザン」の増発と空港特急「ラピート」の運用見直し

< 特急「サザン」 >

平日、和歌山港(8:26)発の上り1本、土・休日では和歌山市(7:30)発と和歌山港(8:23)発の上り2本を増発します。また、平日の10時から17時まで、および土・休日の9時以降において、難波～和歌山市(和歌山港)間の都市間輸送を特急に特化するため、特急を毎時1本増発し、特急「サザン」(一部座席指定制)または一般特急(全席自由席)を30分間隔で運転します。これにともない、難波～和歌山市(和歌山港)間の急行運転を中止します。

< 特急「ラピート」 >

平日ダイヤの難波(7:00 発・8:00 発・9:00 発)の下り3列車を除き、全ての特急「ラピート」を列車種別の変更を行い、特急「ラピート」として運転します。

【3】運行パターンの変更について

平日の昼間時間帯および土・休日の昼間時間帯以降

1) 「難波～泉佐野」

特急(ラピート・サザン)、急行(空港急行・区間急行)および普通の各列車を15分間隔で運転します。

(例) 難波駅 【平日11時台のダイヤ】

分	列車種別	行先	分	列車種別	行先
00	空港特急「ラピート」	関西空港	30	空港特急「ラピート」	関西空港
03	普通	和歌山市	33	普通	和歌山市
10	空港急行	関西空港	40	空港急行	関西空港
15	一般特急	和歌山市	45	特急「サザン」	和歌山市
17	普通	関西空港	47	普通	関西空港
25	区間急行	みさき公園	55	区間急行	みさき公園

2) 「泉佐野～和歌山市」

特急「サザン」または一般特急(全席自由席)、区間急行(みさき公園行き)、普通(和歌山市行き)の各列車を30分間隔で運転します。なお、下り普通は泉佐野で下り空港急行と接続します。

3) 接続駅の統一

空港急行・区間急行は上下線とも岸和田で特急に、堺・泉大津・泉佐野で普通にそれぞれ接続します。

平日の夕刻以降

現行の急行(和歌山市行き)3本、空港急行3本を、急行(和歌山市行き)2本、空港急行2本、区間急行(和歌山市行き)2本に変更します。

支線の取り扱いについて

乗降実態にもとづき、多奈川線・加太線の初終発時刻を見直します。また、和歌山港線における久保町・築地橋・築港町の3駅を廃止するとともに、和歌山市～和歌山港間の普通を廃止し、四国連絡や通勤通学のお客さま対応として、特急「サザン」、急行(和歌山港行き)を運転します。

以上